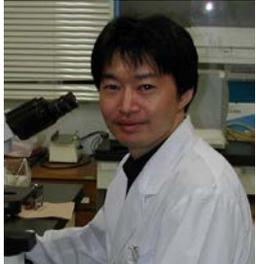
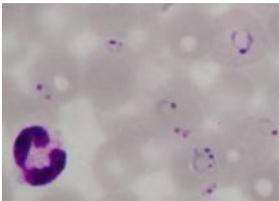


整理番号	HT28061	分野	医歯薬学	(キーワード)	寄生虫、アレルギー
------	---------	----	------	---------	-----------

群馬大学

本当にアレルギーが治るの?! 寄生虫で変化する免疫体質を観察しよう

先生(代表者)	鈴江 一友(すずえ かずとも) 大学院医学系研究科・講師			
自己紹介	<p>大学時代の思い出と言えばアルバイトと旅行ばかり。自転車で北海道一周したり、200円で泊まれるアジアのゲストハウスを転々としたり。色んな人と出会い、色んな価値観を持った人がいて、決して恵まれてないようでもみんな楽しくやっています・・・あ！もちろん大学はちゃんと卒業しましたよ。</p> <p>今は寄生虫学と免疫学に足場を置いて研究しています。感染症が流行する国々は貧しい。先進国では3人に1人がアレルギーに悩んでいる。人々の命・生き方・笑顔に寄り添った研究を目指しています。好きな本は宮沢賢治「グスコーブドリの伝記」。機会があれば読んでみてください。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成28年8月10日(水)	(対象)	高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	群馬大学 昭和キャンパス 医学部基礎研究棟 4F 大学院セミナー室	(集合時間)	11:00 am	
開催会場	群馬大学 昭和キャンパス 医学部基礎研究棟 4F 実習室 住所: 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22 アクセスマップ: http://www.gunma-u.ac.jp/html/access_0.html			
内 容				
<p>「あたしすぐにお腹を壊しちゃう体質なの」「おれはこの時期くしゃみが止まんないんだよねえ」・・・体質って人それぞれですよ？ 日々同じものを食べて生活している家族ですら、同じ両親から生まれた兄弟ですら、体質が人それぞれなのは驚きです。</p> <p>実は、私たち人間は、たとえどれだけ清潔に過ごしている人であっても、細菌やウイルスや寄生虫を体内に宿しています。そしてそれらの存在は、私たちの体質を決める重要な「環境因子」の一つとして、私たちに大きく影響を及ぼしていることが分かってきました。</p> <p>先進国に住む私たちにはすっかり縁遠くなってしまった寄生虫ですが、私たちの環境からこの寄生虫を失った結果、先進国に住む人たちの体質がどのように変化したのでしょうか？ 先進国に住む人々を悩まし続けるアレルギーは、免疫体質の変化がその発症要因の一つに挙げられています。</p> <p>マラリア原虫という寄生虫に感染したマウスを観察し、「環境因子としての寄生虫」について一緒に考えてみませんか？ そして最新の研究結果を紹介するので、みんなで自分たちの体質について考えてみましょう！</p>				
				
				

スケジュール		持ち物
10:30～11:00	受付(昭和キャンパス 基礎研究棟 4F 実習室)	筆記用具 (着替え)
11:00～11:20	開講式(あいさつ・オリエンテーション・科研費の説明)	
11:20～12:20	実習「寄生虫に感染したマウスの体内を観察しよう」	特記事項 実際にマウス体内を観察します。生物の解剖で気分が悪くなった経験のある方は事前にお知らせください。 服に動物のにおいが付くことがあります。気になる人は着替えを持参してください。
12:20～13:20	昼食・休憩	
13:20～13:50	講義・実習「寄生虫に感染するとどんな変化が起こる？」	
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:40	講義・実習「で、寄生虫は私たちにとって有益？有害？」	
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:30	実習・講義「いろいろな寄生虫を観察しよう」	
15:30～15:40	クッキータイム・ディスカッション	
15:40～16:00	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
16:00	終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

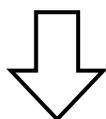
所属・氏名：	群馬大学 大学院医学系研究科 国際寄生虫病学 鈴江 一友
住所：	〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22
TEL 番号：	027-220-8023
FAX 番号：	027-220-8025
E-mail：	suzue@gunma-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年8月1日(月)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、8月3日(水)までにメール(または郵便)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
鈴江 一友	H27-29	基盤研究(C)	15K08520	免疫学的特異性から逸脱したマラリアにおけるT細胞応答の分子メカニズム
鈴江 一友	H20-22	基盤研究(C)	20590421	感染増悪を導くマラリア免疫応答の分子的解析
鈴江 一友	H16-17	若手研究(B)	16790243	マラリア防御免疫記憶の分子学的解析



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。